

2020年4月22日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

**熱い心と冷静な頭脳でスポーツ界を動かす元ラグーマン
 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』**

第90回 森喜朗氏

(現 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、元 内閣総理大臣)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:渡邊一利 以下:SSF)では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を掲載しています。

今年度は、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、**スポーツの変革に挑戦してきた人びと**をテーマにインタビューを行っています。シリーズ第90回目の今回は、政治家としてスポーツ界を牽引し、政界引退後もスポーツ組織の運営に尽力されている森喜朗氏にご登場いただきます。

ラグビーワールドカップ2019を成功に導くなど、鋭い分析力と確かな行動力、政界で培った広い視野を活かし、現在もスポーツへの貢献をたゆみなく続けておられる森氏が、日本スポーツ界の現状をどう捉えているのか、未来に何を望むのか——産経新聞特別記者兼論説委員、佐野慎輔氏が的確な質問でその答えに迫ります。

※ 本取材は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催延期決定前の、2019年11月、2020年1月、2月に行いました。

「未来へつなげたい『ゴールデン・スポーツイヤーズ』のレガシー」 森喜朗氏

【公開日時】2020年4月22日(水) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/287/Default.aspx>

スポーツ歴史の検証 で検索ください!

【主な内容】今後にこそあるラグビーワールドカップ真の成功/多くの問題を抱える新国立競技場の実態/東京大会で示したい共生社会の姿/問題解決に必要な財政基盤の整備/子どもたちに残したいスポーツが伸び伸びとできる環境



《プロフィール》

森喜朗(もり よしろう)氏

1937年生まれ、石川県出身。文部大臣、自民党幹事長、内閣総理大臣を歴任。政界引退後もスポーツ振興に貢献を続ける。日本ラグビーフットボール協会会長、ラグビーワールドカップ2019組織委員会副会長などを経て、現在は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、日本トップリーグ連携機構名誉会長、日本スポーツ協会最高顧問として活躍。

佐野 慎輔(さの しんすけ)氏

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、SSF理事/特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 広報担当: 竹下、清水

TEL: 03-6229-5300 info@ssf.or.jp